教 養 教 育 履 修 手 引

令 和 3 年 度

※) 総合科目群とは
・Python入門
・データ・サイエンス応用
・データサイエンス・AI機械学習
が含まれております。
添付のシラバスをご参照ください。

群　馬　大　学

別表第１　共同教育学部

【教養教育科目】

科目区分	授業科目・授業題目	卒業に必要な単位数	備　　考
初期導入科目	学びのリテラシー(1)	2	必修
リテラシー科目	英語	4	１年次２単位必修 ２年次２単位必修
	スポーツ・健康	2	必修
	データ・サイエンス	2	必修
教養科目	学びのリテラシー(2)	2	必修
	グローバル化と外国人児童生徒教育	4	３年次必修（宇都宮大学開講）
	人権と福祉		２年次必修（宇都宮大学開講）
	エスニック・マイノリティの子どもと教育 言語と教育 ジェンダー論 防災・安全教育	4	選択必修
	日本国憲法	2	必修
	スポーツ科学	1	必修
	人文科学科目群	8	
	社会科学科目群		
	自然科学科目群		
	健康科学科目群		
	外国語教養科目群	4	選択英語・選択ドイツ語以外の１言語４単位必修。ただし,自然・情報系及び教育人間科学系の学生は２単位まで選択英語で代替することができる。 なお，選択英語・選択ドイツ語以外の外国語は同一の教員が担当する授業題目を通年で履修すること。
	総合科目群		
合　　計		31	

（２）情報学部生（別表第２による）

① 履修登録単位数

履修登録できる単位数の上限は、１学年度に46単位までとする。なお、詳細は情報学部の履修手引を参照すること。

② 教養教育科目：教養基盤科目（学士力育成）

ア.「学びのリテラシー(1)」は、前期の指定された授業時間に１題目２単位を修得する。

イ.「学びのリテラシー(2)」は、後期に１題目２単位を修得する。なお、履修できる単位数は１題目２単位までとする。

ウ.「英語」は、１年次２単位、２年次２単位、計４単位を指定された授業時間に修得する。別冊の『教養教育授業案内』に記載してある英語の履修方法を参照のこと。

エ.「スポーツ・健康」は、前期に健康教育２単位を指定された授業時間に修得し、後期にスポーツ科学１単位を指定された授業時間に修得する。ただし、スポーツ科学は、集中講義のシーズンスポーツで修得しても差し支えない。

オ.「データ・サイエンス」は、前期の指定された授業時間に２単位を修得する。

カ.「就業力」は、前期の指定された授業時間に２単位を修得する。

③ 教養教育科目：教養育成科目

教養育成科目は、「人文科学科目群」１題目２単位、「社会科学科目群」１題目２単位、「自然科学科目群」または「健康科学科目群」から１題目２単位、「総合科目群」１題目２単位を含めて、計14単位を修得する。

情報学部では、２年生に進級する際に、人文情報プログラム、社会共創プログラム、データサイエンスプログラム、計算機科学プログラムの４つのプログラムの内のいずれかに配属される。人文情報プログラム及び社会共創プログラム所属の学生は、上記の計14単位の中に「外国語教養科目群」４題目４単位を含めて修得する。この２つのプログラムのいずれかに所属する学生は「外国語教養科目群」の履修において、原則として１年次に、選択英語・選択ドイツ語以外の１言語４単位を必ず修得する。

④ 専門教育科目

１年次に開設する専門教育科目は、情報学部の履修手引、授業時間割表、教室配当表及び情報学部授業計画に従って履修する。

別表第２　情報学部

【教養教育科目】

<table>
<tr><th>科目区分</th><th>授業科目</th><th>卒業に必要な単位数</th><th>履修年次</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教養基盤科目
（学士力育成）</td><td>学びのリテラシー(1)</td><td>2</td><td>1年</td><td></td></tr>
<tr><td>学びのリテラシー(2)</td><td>2</td><td>1年</td><td></td></tr>
<tr><td>英語</td><td>4</td><td>1・2年</td><td>1年次2単位必修、2年次2単位必修</td></tr>
<tr><td>スポーツ・健康</td><td>3</td><td>1年</td><td></td></tr>
<tr><td>データ・サイエンス</td><td>2</td><td>1年</td><td></td></tr>
<tr><td>就業力</td><td>2</td><td>1年</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="6">教養育成科目</td><td>人文科学科目群</td><td>2以上</td><td rowspan="6">14</td><td rowspan="6">1～4年</td><td></td></tr>
<tr><td>社会科学科目群</td><td>2以上</td><td></td></tr>
<tr><td>自然科学科目群</td><td rowspan="2">2以上</td><td></td></tr>
<tr><td>健康科学科目群</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語教養科目群</td><td>人文情報プログラム及び社会共創プログラム所属の学生は、外国語教養科目について下記※を参照。</td></tr>
<tr><td>総合科目群</td><td>2以上</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">合　　計</td><td>29</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

※人文情報プログラム及び社会共創プログラム所属の学生は、以下のように外国語教養科目が必修となる。

・選択英語・選択ドイツ語以外の1言語4単位必修

・なお、選択英語・選択ドイツ語以外の外国語は、同一の教員が担当する授業題目を通年で履修すること。

（３）医学部生（医学科）（別表第３による）

① 教養教育科目：教養基盤科目（学士力育成）

ア.「学びのリテラシー(1)」は、前期の指定された授業時間に１題目２単位を修得する。

イ.「学びのリテラシー(2)」は、後期に１題目２単位を修得する。なお、履修できる単位数は１題目２単位までとする。

ウ.「英語」は、１年次２単位、２年次２単位、計４単位を指定された授業時間に修得する。別冊の『教養教育授業案内』に記載してある英語の履修方法を参照のこと。

エ.「スポーツ・健康」は、前期に健康教育２単位を指定された授業時間に修得し、後期にスポーツ科学１単位を指定された授業時間に修得する。ただし、スポーツ科学は、集中講義のシーズンスポーツで修得しても差し支えない。

オ.「データ・サイエンス」は、前期の指定された授業時間に２単位を修得する。

② 教養教育科目：教養育成科目

教養育成科目は、「人文科学科目群」１題目２単位、「社会科学科目群」１題目２単位、「総合科目群」１題目２単位を含めて、計14単位を修得する。

③ 専門教育科目のうち専門基礎

「物理学演習」１単位、「化学演習」１単位、「自然科学演習・実験」１単位、「医系の数理科学」１単位、「物理学」「化学」「生物学」のいずれか２単位、「医系の国語表現(1)」２単位と「医系の国語表現(2)」２単位の、計10単位を修得する。

なお、「物理学」、「化学」及び「生物学」の３科目は、高等学校で物理、化学、生物のいずれかを履修していない場合、その科目２単位を履修すること。物理、化学及び生物のすべての科目を履修した者は、大学入学共通テストで選択しなかった科目を履修すること。

専門基礎に関する窓口は基本的に教養教育係が担当する。

「自然科学演習・実験」及び「医系の国語表現(2)」は昭和地区で開講する。

④ 専門教育科目

１年次に開設される専門教育科目は、昭和地区で開講する。医学部医学科の履修手引を参照すること。

※医学科では２年次開講科目の授業日程により教養教育科目の履修（再履修含む）が難しいことがあるので、注意すること。

別表第３　医学部医学科

【教養教育科目】

科目区分	授業科目	卒業に必要な単位数	履修年次	備　　考
教養基盤科目（学士力育成）	学びのリテラシー(1)	2	1年	
	学びのリテラシー(2)	2	1年	
	英語	4	1・2年	1年次2単位必修、2年次2単位必修
	スポーツ・健康	3	1年	
	データ・サイエンス	2	1年	
教養育成科目	人文科学科目群	2以上	1年	
	社会科学科目群	2以上		
	自然科学科目群	14		
	健康科学科目群			
	外国語教養科目群			選択英語・選択ドイツ語以外の外国語は、同一の教員が担当する授業題目を通年（2単位以上）で履修すること。
	総合科目群	2以上		
小　　計		27		

（参考）

【専門教育科目のうち専門基礎】

科目区分	授業科目	卒業に必要な単位数	履修年次	備　　考
専門基礎	物理学演習	1	1年	（荒牧）
	化学演習	1	1年	（荒牧）
	自然科学演習・実験	1	1年	（昭和）
	医系の数理科学	1	2年	（荒牧）
	物理学	2	1年	（荒牧） 高等学校で物理、化学、生物のいずれかを履修していない場合、その科目2単位を履修すること。物理、化学及び生物のすべての科目を履修した者は、大学入学共通テストで選択しなかった科目を履修すること。
	化学			
	生物学			
	医系の国語表現(1)	2	1年	（荒牧）
	医系の国語表現(2)	2	1年	（昭和）
小　　計		10		

※昭和開講の専門基礎科目は、「教養教育授業案内」に掲載されないので、シラバスを参照すること。

（４）医学部生（保健学科）（別表第４による）

① 教養教育科目：教養基盤科目（学士力育成）

ア.「学びのリテラシー(1)」は、前期の指定された授業時間に１題目２単位を修得する。

イ.「学びのリテラシー(2)」は、後期に１題目２単位を修得する。なお、履修できる単位数は１題目２単位までとする。

ウ.「英語」は、１年次２単位、２年次２単位、計４単位を指定された授業時間に修得する。別冊の『教養教育授業案内』に記載してある英語の履修方法を参照のこと。

エ.「スポーツ・健康」は、前期に健康教育２単位を指定された授業時間に修得し、後期にスポーツ科学１単位を指定された授業時間に修得する。ただし、スポーツ科学は、集中講義のシーズンスポーツで修得しても差し支えない。

オ.「データ・サイエンス」は、後期の指定された授業時間に２単位を修得する。

② 教養教育科目：教養育成科目

教養育成科目は、「人文科学科目群」１題目２単位、「社会科学科目群」１題目２単位、「総合科目群」１題目２単位を含めて、計12単位を修得する。

なお、看護学専攻で、保健師免許による養護教諭２種免許取得を希望する場合は、「社会科学科目群」の日本国憲法を必ず修得すること。

＊理学療法学・作業療法学専攻で、理学療法士・作業療法士の養成施設教員を将来希望する可能性がある者は、教養科目の選択の際に考慮すべき点があるため、あらかじめ各専攻教員に相談すること。

③ 専門教育科目

１年次生の専門教育科目は一部荒牧地区で開講する。

別表第４　医学部保健学科

教養教育科目

<table>
<tr><th>科目区分</th><th>授業科目</th><th>卒業に必要な単位数</th><th>履修年次</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td rowspan="5">教養基盤科目
（学士力育成）</td><td>学びのリテラシー(1)</td><td>2</td><td>1年</td><td></td></tr>
<tr><td>学びのリテラシー(2)</td><td>2</td><td>1年</td><td></td></tr>
<tr><td>英語【※】</td><td>4</td><td>1・2年</td><td>※1年次2単位必修、2年次2単位必修</td></tr>
<tr><td>スポーツ・健康</td><td>3</td><td>1年</td><td></td></tr>
<tr><td>データ・サイエンス</td><td>2</td><td>1年</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="7">教養育成科目</td><td>人文科学科目群</td><td>2以上</td><td rowspan="6">1年</td><td></td></tr>
<tr><td>社会科学科目群
【※1】</td><td>2以上</td><td>※1　看護学専攻で、保健師免許による養護教諭2種免許取得を希望する場合は、社会科学科目群の「日本国憲法」は必修である。</td></tr>
<tr><td>自然科学科目群</td><td rowspan="3">12</td><td></td></tr>
<tr><td>健康科学科目群</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語教養科目群
【※2】</td><td>※2　選択英語・選択ドイツ語以外の外国語は、同一の教員が担当する授業題目を通年（2単位以上）で履修すること。</td></tr>
<tr><td>総合科目群</td><td>2以上</td><td>1～4年</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">小　　計</td><td>25</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

（５）理工学部生（別表第５による）

① 履修登録単位数

履修登録できる単位数の上限は、各学期27単位までとする。ただし、成績優秀者については、上限を別に定める。（理工学部規程第７条第２項及び第３項参照）

② 教養教育科目：教養基盤科目（学士力育成）

ア.「学びのリテラシー(1)」は、前期の指定された授業時間に１題目２単位を修得する。

イ.「学びのリテラシー(2)」は、後期に１題目２単位を修得する。なお、履修できる単位数は１題目２単位までとする。

ウ.「英語」は、１年次に４単位、２年次に２単位を指定された授業時間に修得する。

エ.「スポーツ・健康」は、前期に健康教育２単位を指定された授業時間に修得し、後期にスポーツ科学１単位を指定された授業時間に修得する。ただし、スポーツ科学は、集中講義のシーズンスポーツで修得しても差し支えない。

オ.「データ・サイエンス」は、前期の指定された授業時間に２単位を修得する。

カ.「就業力」は、前期にキャリア計画２単位を指定された授業時間に必修として修得する。さらに、後期にキャリア設計２単位を修得したときは、教養育成科目の卒業に必要な単位数の合計に含めることができる。

③ 教養教育科目：教養育成科目

ア．教養育成科目は、「人文科学科目群」１題目２単位、「社会科学科目群」１題目２単位、「総合科目群」１題目２単位を含めて、計12単位を修得する。（上記②カ．の「就業力」の科目を含める場合であっても、「人文科学科目群」、「社会科学科目群」、「総合科目群」からそれぞれ１題目２単位は修得する必要がある。）

④ 専門教育科目

理工学部学修案内を参照すること。

別表第５　理工学部（物質・環境類）

教養教育科目（物質・環境類）

<table>
<tr><th>科目区分</th><th>授業科目</th><th colspan="2">卒業に必要な単位数</th><th>履修年次</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教養基盤科目
（学士力育成）</td><td>学びのリテラシー(1)</td><td colspan="2">2</td><td rowspan="2">1年</td><td rowspan="6">・「就業力」は「キャリア計画」２単位を必修として修得すること。
・「就業力」の修得単位の合計が２単位を超えた場合（「キャリア設計」を修得した場合）は、２単位まで「教養育成科目」の単位の合計に加算することができる。
・「英語」１年次に４単位，２年次に２単位を修得すること。</td></tr>
<tr><td>学びのリテラシー(2)</td><td colspan="2">2</td></tr>
<tr><td>英語</td><td colspan="2">6</td><td>1・2年</td></tr>
<tr><td>スポーツ・健康</td><td colspan="2">3</td><td rowspan="3">1年</td></tr>
<tr><td>データ・サイエンス</td><td colspan="2">2</td></tr>
<tr><td>就業力</td><td colspan="2">2</td></tr>
<tr><td rowspan="7">教養育成科目</td><td>人文科学科目群</td><td>2以上</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="7">1～4年</td><td rowspan="7">選択英語・選択ドイツ語（教養教育授業案内参照）以外の外国語は同一教員が担当する授業題目を通年（２単位以上）で修得すること。</td></tr>
<tr><td>社会科学科目群</td><td>2以上</td></tr>
<tr><td>自然科学科目群</td><td colspan="2" rowspan="3">12</td></tr>
<tr><td>健康科学科目群</td></tr>
<tr><td>外国語教養科目群</td></tr>
<tr><td>総合科目群</td><td>2以上</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合　計</td><td colspan="2">29</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

理工学部（電子・機械類）

【教養教育科目】

<table>
<tr><th>科目区分</th><th>授業科目</th><th>卒業に必要な単位数</th><th>履修年次</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教養基盤科目
（学士力育成）</td><td>学びのリテラシー(1)</td><td>2</td><td rowspan="2">1年</td><td rowspan="6">・「就業力」は「キャリア計画」２単位を必修として修得すること。
・「就業力」の修得単位の合計が２単位を超えた場合（「キャリア設計」を修得した場合）は、２単位まで「教養育成科目」の単位の合計に加算することができる。
・「英語」１年次に４単位、２年次に２単位を修得すること。</td></tr>
<tr><td>学びのリテラシー(2)</td><td>2</td></tr>
<tr><td>英語</td><td>6</td><td>1・2年</td></tr>
<tr><td>スポーツ・健康</td><td>3</td><td rowspan="3">1年</td></tr>
<tr><td>データ・サイエンス</td><td>2</td></tr>
<tr><td>就業力</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="7">教養育成科目</td><td>人文科学科目群</td><td>2以上</td><td rowspan="7">1～4年</td><td rowspan="7">選択英語・選択ドイツ語（教養教育授業案内参照）以外の外国語は同一教員が担当する授業題目を通年（２単位以上）で修得すること。</td></tr>
<tr><td>社会科学科目群</td><td>2以上</td></tr>
<tr><td>自然科学科目群</td><td rowspan="4">12</td></tr>
<tr><td>健康科学科目群</td></tr>
<tr><td>外国語教養科目群</td></tr>
<tr><td>総合科目群</td><td>2以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">合　計</td><td>29</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>